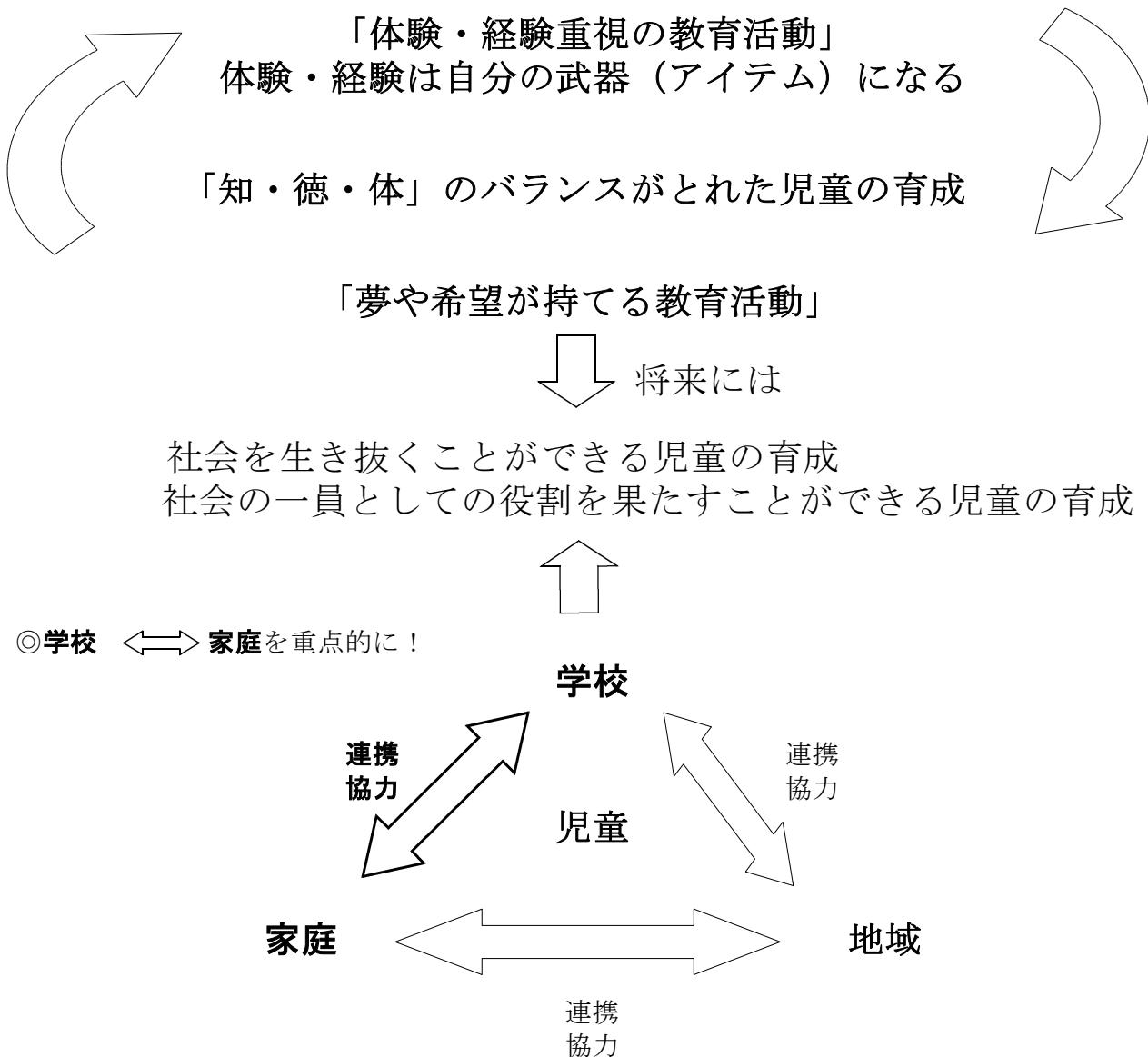


## 1 基本方針



## 2 具体的内容

◎ 「子どもも教職員も楽しいと思える学校」  
(教師の姿が、子どもを育てる)

- (1) 「教師が楽しい学校」 → 「子どもが楽しい学校」
- ↓ 「教師の姿が子どもを育てる」 ↓
- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ① やりがいを見出す。       | ① 目標を持って生活することができる。    |
| ② 教職員間で連携・協力をする。  | ② 助け合い、協力することができる。     |
| ③ ポジティブにとらえる。     | ③ 明るく、元気に生活することができる。   |
| ④ 経験は武器なる。        | ④ 体験・経験が考えを深めることができる。  |
| ⑤ 課題・問題の解決を設定する。  | ⑤ 自ら解決する力が身につけることができる。 |
| ⑥ 具体策を考え、実践する。    | ⑥ よりよい方法を考えることができる。    |
| ⑦ 自ら考え、行動する。      | ⑦ 問題解決能力が身につけることができる。  |
| ⑧ 報・連・相を徹底する。     | ⑧ 先生や友だちと話すことができる。     |
| ⑨ 自分がやるべきことを明確にする | ⑨ 何をすべきが分かるようになる。      |
| ⑩ 不祥事を起こさない。      | ⑩ 善悪の判断ができるようになる。      |

(2) 知

「自分の考えを持ち、その考えを相手に伝え、相手の考えを認め、そして生かす」  
「めあてを持って学習させる」  
「授業が分かる・学習した内容が分かるようにする」  
「子ども・教師が自分の体験・経験を生かす」  
「子ども・教師が自分の得た情報を生かす」  
} 「少人数の良さを理解し、生かす」  
「A B C プラン」「学校カルテ」  
} を活用する。

(3) 徳

「あいさつができる子」  
「学年に枠を越えて関わり合えるようにする」  
「相手の良さを認められる子を育てる」  
「失敗を恐れずチャレンジするように仕向ける」  
「自分のよさを理解し、相手のよさを認めさせる」  
「自分を見つめ、自分の存在を理解し、考えた行動がとれる」

(4) 体

「めあてを持って運動できる子を育てる」  
「楽しみながら運動ができる機会と場の設定をする」  
「自分に打ち勝つ（困難に立ち向かえる）こを育てる」  
「基礎的な体力づくり・基本的な運動能力の育成を図る」  
「食育の充実と保健の学習との連携を図る」

(5) 体験・経験の実践

「子どもにとってよいと思える教育活動を実施する」  
「将来に夢や希望が持てる教育活動（キャリア教育）を実施する」  
{外部講師・出前授業・体験教室の積極的な活用を図る}

(6) 学校・家庭・地域の連携・協力

「読書活動の充実と親子読書の日の確実な実践」  
「地域の組織等を巻き込んだ教育活動を行う」  
「P T A活動と学校の教育活動がコラボした実践する」  
「保護者と教師が共に学ぶ親業の推進する」(放任主義の過保護の保護者の意識改革)